

児童生徒の「主体的な学び」を促す授業実践

1 基本情報

- ◇各教科等 作業学習（農業）
- ◇学部・学年 中学部 第1・2・3学年
- ◇単元名 「冬野菜・花の栽培」
- ◇単元の目標
 - ・働くことに喜びをもち、進んで作業に取り組むことができる。
 - ・作業内容を理解し、最後まで取り組むことができる。
 - ・作業に使う道具を安全に正しく扱うことができる。
- ◇付けたい力 種まきの仕方を知り、主体的に種まきをすることができる。
- ◇本時の目標
 - ・作業内容を理解し、進んで活動することができる。
 - ・決められた活動を最後までやりきることができる。
- ◇生徒の実態
 - ・単一障害学級の1・2・3年の縦割りグループで編成。
 - 作業内容を聞き、主体的に活動できる生徒から繰り返し活動をすることで、少しずつ自分の動きで活動に参加できる生徒など実態が様々である。視覚支援が有効な生徒もいるが、活動を一つずつ確かめながら自分の力にしていく生徒もいる。

2 期待する児童生徒の姿

主体的に活動に取り組むことができる。

3 指導者が捉えた児童生徒の「主体的な学び」

- ・一人一人の活動だけでなく、ペア活動を取り入れていくことで、手本を見て作業内容を理解し、自分の理解したことを友だちに教えてあげようとする姿がみられるようになった。
- ・活動内容の見通しが持てることで、意欲を持ち自主的に活動することができるので、ホワイトボードに作業手順を記入したものを見て、自主的に活動し活動時間も長くなってきた。
- ・後輩に畑について教えてあげたいという気持ちを持ち、自分のこれまでに学んだ知識を後輩に教えることでより学習が般化されてきた。
- ・活動に自分の好きなものを見つけることで、活動の終わりまでやりきろうとする姿を見ることができるようになった。